

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	母子保健地域活動事業	所管	保健福祉部 母子保健課
			Tel 2991-1811

事業の目的 (何の為に 行うか)	乳幼児の健康の保持増進を図り、保護者の子育て支援を行う。
------------------------	------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	母子保健推進員	対象とした数	111	人
		実際に 利用した数	7,209	人

活動の内容	(何を したか)	母子保健推進員は、市及び保健所等と連携を図り、保健事業に関する制度の紹介や利用勧奨等を声かけ訪問にて実施する。声かけ訪問の実施状況は訪問記録票に残され、市に報告されている。市は、報告内容に対し情報提供や助言を行っている。また、市が行う乳児健康診査や乳幼児健康相談、「双子・三つ子のサロン」にも協力している。 乳幼児の救急(救命)講習会の開催、公民館で行われる子育てサロン・子育て教室等への協力も行っている。							
活動実績	項目名	活動延べ回数	959	項目名	活動参加延べ人数	7209	項目名	活動実人数	111
		----- 単位 回	----- 回		----- 単位 人	----- 人		----- 単位 人	----- 人

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	100	63	5,136	15.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	活動参加延べ人数	本部の活動参加人数+10地区の活動参加人数+声かけ訪問実施人数	7000	7209	103.0
			----- 単位 回	----- 単位 回	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []			
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止			
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了			

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード	040800	凡	2991-1811
事業コード	母子保健地域活動事業	担当部課	保健福祉部 母子保健課		
040815		グループ	母子保健グループ		
開始年度	昭和 55 年度	→	終了年度	平成	年度

事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
分野別計画・指針	所沢市次世代育成支援行動計画			母子保健法
関連・類似事業	母子愛育会補助金			
総合計画の体系	第3章 豊かなかで健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	6節 保健・医療	中柱 2 生涯を通じた健康づくりの推進
				小柱 (2)子育て支援事業の推進
概要	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 11 位			
	実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○			
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ			
コード	地域活動の活性化支援	コード		
1231				
事業開始の背景	母子保健法の趣旨に基づき、地域住民による地域に密着した活動を行うため、母子保健推進員を設置した。			

③事業内容	目的(何のために行うか、具体的に)
	乳幼児の健康の保持増進を図り、保護者の子育て支援を行う。
	対象(誰を、何を対象としているのか)
	母子保健推進員
	利用数の考え方
	母子保健推進員の支援を利用した人数
	対象数 単位
	平成 18 年度 101 人
	平成 19 年度 111 人
	利用数 単位
	平成 18 年度 7,033 人
	平成 19 年度 7,209 人
	事業の具体的な内容及び実施方法
	母子保健推進員は、市及び保健所等と連携を図り、保健事業に関する制度の紹介や利用勧奨等を声かけ訪問にて実施する。声かけ訪問の実施状況は訪問記録票に残され、市に報告されている。市は、報告内容に対し情報提供や助言を行っている。また、市が行う乳児健康診査や乳幼児健康相談、「双子・三つ子のサロン」にも協力している。乳幼児の救急(救命)講習会の開催、公民館で行われる子育てサロン・子育て教室等への協力も行っている。

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)
	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())
	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)
	予算 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点
	更に母子保健活動の充実を図るため、乳幼児とその保護者を対象とした離乳食教室の開催も行う。

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		100	100	80
	決算(見込み含む)		63	63	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	0.54 人	4,968	0.54 人	5,073
	公債費				
	事業費合計		5,031	5,136	
	財源内訳	一般財源	5,031	5,136	80
		国・県支出金			
		受益者負担金			
		市債			
		その他			
	市民一人当たり(単位:円)		14.9	15.1	
	利用数一単位あたり(単位:円)		715.3	712.4	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	活動延べ回数	本部の活動回数+10地区の活動回数+声かけ訪問件数	回	763	959		
		活動参加延べ人数	本部の活動参加人数+10地区の活動参加人数+声かけ訪問実施人数	人	7033	7209		
		活動実人数	推進員実人数	人	101	111		
	成果分析	活動参加延べ人数	本部の活動参加人数+10地区の活動参加人数+声かけ訪問実施人数	目標値	7000	7000		
				実績	7033	7209	実績値の拡大を図る1	1
達成率				100.5	103.0	実績値の縮小を図る2		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
		見直しの必要性		見直しの必要性
	他事業との整理・統合	対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無
類似・関連事業などとの整理・統合		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし <input type="checkbox"/>		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
	明らかとなった課題	育児環境の変化により、育児不安を抱える親は増加している。今までも、妊娠前から乳幼児を育てる親への支援事業を行ってきたが、今後一層子育て支援に重点を置いた活動が求められる。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	乳幼児期の子どもを育てる親への子育て支援活動を拡大(声かけ訪問のより一層の取り組み、離乳食教室等の実施)	前年把握した活動参加延べ人数に対し、5~10%の向上を目指す。	平成21年4月調査予定
	平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	若い子育て年代ほど地域住民との関係が希薄化しており、身近な相談相手を得られにくくなっている。行政における母子保健事業だけでなく、地域住民による支援が必要となっている。声かけ訪問では、保健師への連絡が行われることで、地域の問題を保健師が把握することができる。地域と行政のハイブ役を、母子保健推進員が担っていると言える。自主的に子育て事業を計画・運営できる存在であり、自治体との関わりも強い組織である。今後も地域の資源と言える本事業の活動は必要である。		
	評価日	平成20年5月2日	記者職氏名	母子保健課長 小林 昌治

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨個別評価	年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	
		評価理由	評価日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード			
	施策の体系					
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	1223		
	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします				
	主要課題	2ホームタウンとしての家庭・地域づくり				
	施策の方向	2母子保健事業の推進				